

# えもんみっけ!

～市民レポーターのページ～

市民レポーターの皆さんが、市内のさまざまな場所に出かけて、市民ならではの視点から小牧の魅力や身近な話題について取材した様子を、毎月15日号で紹介していくコーナーです!

REPORT 152

今だから……

お家でもつと

小牧を学びませんか。

小牧の歴史を文化、産業、歴史的人物、小牧山城、川などさまざまなテーマごとに1冊にまとめた「小牧叢書(こまきそつしよ)」。全20巻で、小牧を知るなら必見の本です。

今からおよそ50年前、昭和47(1972)年に小牧叢書(1)「こまき昔話」

が誕生しました。当時は、小牧の歴史に造詣の深い郷土史家が執筆していました。現在では、市内の小中学校で社会科の教鞭をとる教職員20人ほどが、「小牧市文化財資料研究員」として、文化財書籍の執筆を担当していて、新刊の制作・執筆に尽力しているそうです。

### 自分の興味のある本から

全20巻の中には、「小牧の古文書」や「小牧の石碑」など少し専門的な分野の本もありますが、子どもたちには小牧の吉五郎伝説などが収められた「こまき昔話」と「小牧のむかしむかし」がおすすです。また、「小牧の民俗」など小牧の暮らしを描いた興味深い本などもあります。「小牧の川・用水」では歴史や現状を知るだけでなく、川沿いの散策ガイド

新型コロナウイルス感染拡大防止のため家で過ごすことが多くなりました。SNSなど当初、楽しかった遊びに飽きてしまった人や自分の本を読み切ってしまった人に、新しい楽しみとして、市教育委員会が発行する小牧叢書を紹介します。

本は、市立図書館または、市文化財課にあります。市役所1階の情報公開コーナーにも、閲覧可能な本があります。購入の場合は、文化財課窓口(本庁舎3階)へ。郵送を希望する場合は、事前に問合せください。

図書名	価格(税込)
小牧叢書(1) こまき昔話	450円
小牧叢書(2) 小牧山と江崎氏	450円
小牧叢書(3) 大山廃寺遺跡概説	450円
小牧叢書(4) 小牧の古文書	570円
小牧叢書(5) 西行法師木像流転録	550円
小牧叢書(6) 小牧の三十三所観音信仰	550円
小牧叢書(7) 小牧の民俗	440円
小牧叢書(8) 津田応助と象山文庫	440円
小牧叢書(9) 江崎家文書(抄)	380円
小牧叢書(10) 小松寺文書	550円
小牧叢書(11) 小牧のむかしむかし	440円
小牧叢書(12) 小牧の道	810円
小牧叢書(13) 小牧の石碑	1,060円
小牧叢書(14) 小牧の産業史話	550円
小牧叢書(15) 小牧の産業史話(2)	550円
小牧叢書(16) 小牧山城	700円
小牧叢書(17) 続小牧山城	670円
小牧叢書(18) 上街道小牧宿	660円
小牧叢書(19) 小牧の川・用水	810円
小牧叢書(20) 太平洋戦争と小牧	500円

### 編集後記



ヤメイ

何年前か、子どもの夏休みの宿題の自由研究で小牧叢書を知り、参考にさせてもらいました。歴史の教科書に出てくる有名な出来事と小牧が関係していたり、つながっていたりする事実に親の方が驚ろきました。モノクロで地味ですが、とてもタメになると感じました。

※市立図書館で閲覧できますが、休館中かどうかを確認してください。

今回の取材先

市文化財課 (市本庁舎3階)

電話: 05668-761189

# 知っているけれど、 知らないモノを 集めてみました。



パークアリーナの石像「ここから」

## パークアリーナ小牧

写真(左)は、園内にある瞑想の森。すり鉢状になった場所に置かれた木製のイスでリラックスしながら森林浴ができるのだそうです。

市内の多くの施設や公園の中に、いろいろな造形物がありますが、何気を通り過ぎてしまうことが多いのではないのでしょうか。今回は、多くの人が知っているだろう造形物の中に潜むウンチク(意味や蓄えた知識など)を紹介します。いつもの場所でも、知ればまた新鮮な気持ちになれるかもしれません。

## 石像「ここから」

パークアリーナ小牧の入口の横に鎮座する「ここから」。小牧ロータリークラブが国際ロータリー創立100周年と小牧市市制50周年を記念して



平成17(2005)年に造られました。像の下は、タイムカプセルになっています。石とは思えない柔らかなラインの石像は、名古屋造形芸術大学大学院環境造形ゼミの皆さんがデザインしています。



小牧市役所

## ラウンドストーン

市役所南側の芝生の中に置かれたラウンドストーン。平成3(1991)年に開催された「桃花台アーバンフェア91」を記念して設置されました。下から噴き出す水の圧力で、重たい石が優雅に回転しています。



## エアフロントオアシス



写真(右)は、園内に育つ2本のエドヒガン桜。この桜は、岐阜県指定天然記念物の「丑川桜」の2世桜。「丑川桜」は、御母衣夕ム建設により湖底に沈んだ光輪寺と照蓮寺から移植された古木で、園内の桜は、照蓮寺の桜の2世桜だそうです。

旧庁舎のエントランスから移転しました。以前は、触れることができた場所だったので、現在は見るだけです。ゆっくり回転する様は見ているだけで癒されます。

## リアル飛行機がある遊具

小針公園に隣接するエアフロントオアシスの複合遊具の上にある飛行機。遊具が小高い場所にあるので、飛行機を仰ぎ見る感じと空の広さが他にはない雰囲気を出しています。子ども遊具の上にあるのに、かなりリアルな機体なのがユニーク。ここからは名古屋空港を離発着する

飛行機を真上に見ることが出来ます。

## 絵本「こまき山のちようせん」

びわのみず海、あその山、ふじの山という登場キャラクターとこまき山が繰り広げる絵本の世界。シンプルなストーリーですが、心地よい感動を覚える内容で、大人にも読んでほしくて紹介しました。



## 編集後記



みくる

小牧でいろいろな物があって、調べれば面白いものがいっぱいあります。興味を持って見る「心の目」をしっかりと見開いていると何気ない生活も楽しくなるようです。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、屋外といえども、密接な状況にならないよう気を付けてください。絵本「こまき山のちようせん」は、市ホームページで見ることが出来ます。また市民センター、市ティップローション課で配布しています。